

Professional 24-bit USB Audio Interface

U1088 PRE

ユーザーガイド



ESI - Copyright © 2020

www.esi-audio.com

目次

1. イントロダクション	4
1.1 機能	4
2. インストール	7
2.1 推奨システム.....	7
2.2 ハードウェアの接続.....	7
2.3 ドライバー&ソフトウェアのインストール	7
2.3.1 Windows へのインストール.....	8
2.3.2 macOS へのインストール	10
3. コントロールパネル	11
3.1 レイテンシー設定.....	12
4.仕様	13
7. 一般情報	14

1. イントロダクション

U108 PRE は、複数のマイクを同時に接続しマルチチャンネル録音を可能にする USB 2.0 ハイスピード・オーディオレコーディングインターフェースです。

プロフェッショナル品質のマイクプリアンプを 10 基搭載します（フロントパネルに 2 基、リアパネルに 8 基）。独立した各プリアンプは+48V ファンタム電源に対応し、チャンネル毎に入力レベルを調整できます。フロントパネルの LED で入力レベルを確認可能です。もちろん、すべての入力チャンネルを同時に使用できます。さらに、フロントパネルの入力 2 系統をエレキギター用 Hi-Z インストゥルメント入力に切り替えることも可能です。出力は独立 8 系統のライン出力。個別のミックス出力（内蔵モニターミキサー）も備えます。

U108 PRE は、独自の EWDM および DirectWire テクノロジーをベースとした WDM、ASIO 2.0、CoreAudio 対応低レイテンシードライバーで動作します。Mac および Windows のすべてのオーディオ・アプリケーションで使用可能です。付属のソフトウェアを用いることで、U108 PRE を購入後すぐにお使い頂けます。

U108 PRE は、複数のマイクを用いたマルチチャンネル録音の完璧なソリューションを提供します。

1.1 機能

U108 PRE ハードウェアの主な機能は以下の通りです。



1. **マイクロフォンおよび Hi-Z インストゥルメント入力チャンネル 1** : XLR/TRS コンボ入力対応。ダイナミックマイクやコンデンサーマイク、エレキギターを接続できます。隣接する **Hi-Z スイッチ**を有効にすると、エレキギター用インストゥルメント入力として機能します。無効にするとマイク入力に切り替わります。入力レベルを調整するには**GAIN** ノブを使用し、上部のLEDが入力レベルを表示します。**+48V スイッチ**をオンにすると、コンデンサーマイクで必要となるファンタム電源が有効になります。

す。注意：ギターの接続は TRS、マイクロフォンの接続は XLR による接続が必要です。

2. **マイクロフォンおよび Hi-Z インストゥルメント入力チャンネル 2**：XLR/TRS コンボ入力対応。ダイナミックマイクやコンデンサーマイク、エレキギターを接続できます。隣接する **Hi-Z スイッチ**を有効にすると、エレキギター用インストゥルメント入力として機能します。無効にするとマイク入力に切り替わります。入力レベルを調整するには、**GAIN** ノブを使用し、上部の LED が入力レベルを表示します。**+48V スイッチ**をオンにすると、コンデンサーマイクで必要となるファンタム電源が有効になります。注意：ギターの接続は TRS、マイクロフォンの接続は XLR による接続が必要です。
3. **+48V ファンタム電源スイッチ (チャンネル 3~6)**：入力 3~6 でファンタム電源を使用する場合に使用します。
4. **+48V ファンタム電源スイッチ (チャンネル 7~10)**：入力 7~10 でファンタム電源を使用する場合に使用します。
5. **GAIN ノブ(入力 3~10)**：入力レベルを調整します。上部の LED が入力レベルを表示します。
6. **MONO スイッチ**：入力チャンネルをミックスし、デュアルステレオ信号（入力チャンネル 1 がチャンネル 2 へ、入力チャンネル 2 がチャンネル 1 へ）としてモニターすることができます。
7. **ファンタム電源 LED**：各入力のファンタム電源のステータスを表示します。入力 1、入力 2、入力 3~6、入力 7~10 のステータスが LED で示されます。
8. **モニターミキサー**：U108 PRE 内蔵のモニターミキサーをコントロールするためのゲインノブです。“IN 1-10”ノブにて入力チャンネル 1~10 を、“OUT 1-8”ノブにて出力チャンネル 1~8 のレベルを調整します。このミックス信号は、フロントパネルのヘッドフォン出力（“MIX”スイッチがオンの場合）およびリアパネルの“MIX OUT”から出力されます。
9. **ヘッドフォン出力およびヘッドフォン信号選択スイッチ**：ヘッドフォンを接続するための 1/4"TRS 端子です。隣接する GAIN ノブでボリュームを調整します。**MIX スイッチ**は、ヘッドフォン出力信号を選択するスイッチです。オンにすると内蔵モニターミキサーのミックス信号が、オフにするとメイン出力チャンネル 1/2 の信号がヘッドフォン端子から出力されます。

10. **電源スイッチ/LED** : U108 PRE の電源スイッチです。LED が電源のオン/オフ状態を示します。

リアパネルの主な機能は以下の通りです。



11. **ケンジントロック・スロット** : 必要に応じて盗難防止用ラップトップロック端子を使用できます。
12. **DC12V 電源入力** : 付属の DC 電源アダプターを接続します。U108 PRE の動作には、電源の供給が必要です。
13. **USB ポート** : コンピューターと U108 PRE を USB ケーブルで接続します。
14. **MIX 出力** : バランス/アンバランス 1/4"TRS 端子。U108 PRE 内蔵のモニターミキサーによるステレオマスターミックス信号が出力されます。内蔵ミキサー使用時は、この端子にスタジオモニターを接続すると良いでしょう。
15. **ライン出力チャンネル 1~8** : U108 PRE のアナログ出力用バランス/アンバランス 1/4"TRS 端子です。内蔵ミキサーを使用しない場合は、出力 1/2 にスタジオモニターを接続すると良いでしょう。
16. **XLR マイク入力チャンネル 3~10** : ダイナミックマイクまたはコンデンサーマイクを接続します。

2. インストール

2.1 推奨システム

U108 PRE は単純なデジタルオーディオインターフェースではなく、オーディオコンテンツを高度に処理するハイレゾオーディオデバイスです。CPU 依存率は高くありませんが、使用するシステムの仕様は U108 PRE のパフォーマンスに大きく影響します。そのため最新のパーツで構成されたコンピューターの使用を推奨します。

最小システム要件

PC

- Windows Vista / 7 / 8 / 8.1 / 10 (32 および 64-bit)
- USB 2.0 ポート 1 系統

Mac

- Mac OS X 10.8 以降
- USB 2.0 ポート 1 系統

2.2 ハードウェアの接続

U108 PRE は、コンピューターの USB ポートと直接接続して使用します。機器の使用には、付属の電源アダプターを U108 PRE のリアパネルにある DC12V 電源入力端子に接続する必要があります。次に、付属の USB ケーブルでコンピューターと U108 PRE を接続すれば準備は完了です。



コンピューターの USB ポート

2.3 ドライバー&ソフトウェアのインストール

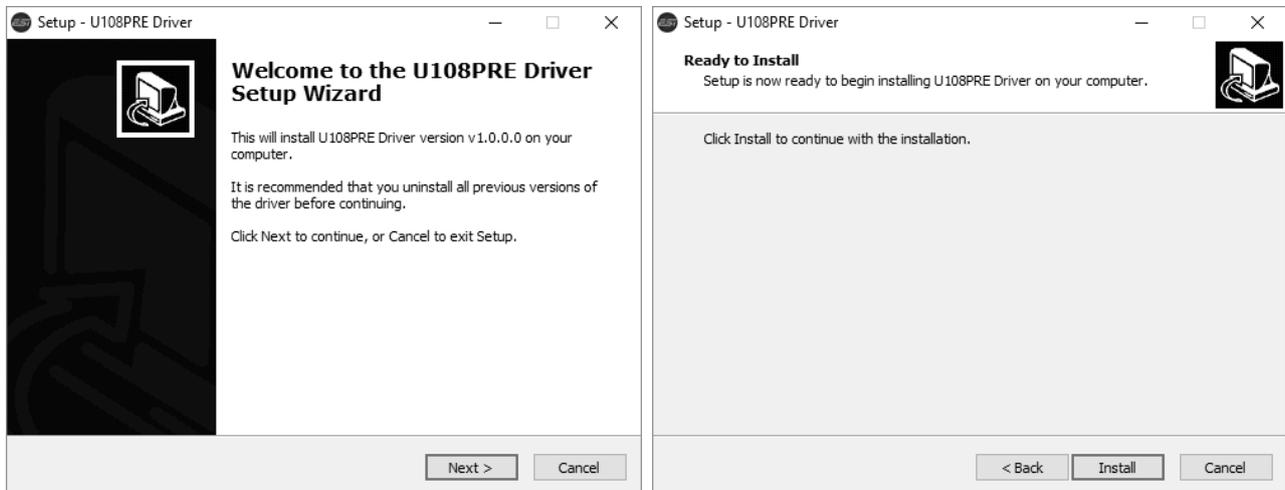
U108 PRE を接続すると、コンピューターは新規ハードウェアデバイスとして機器を検出します。ただし、使用するにはドライバーのインストールが必要です。

U108 PRE をコンピューターに接続する前に、www.esi-audio.com から最新のドライバーをダウンロードすることを強く推奨します。上記ウェブサイトからは常に最新のドライバーがダウンロードできます。付属のインストール DVD に含まれるドライバーは古いバージョンである恐れがあります。ご注意ください。

2.3.1 Windows へのインストール

この章では、U108 PRE 用ドライバーを Windows 10 にインストールする方法を解説します。Windows Vista、7、8、8.1 をお使いの場合も、基本的な手順は同様です。ドライバーをインストールする前に、U108 PRE の電源をオフにした状態でコンピューターと接続します。

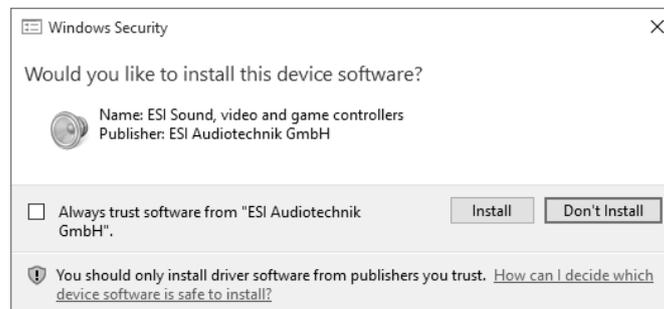
製品付属のインストール DVD またはウェブサイトからダウンロードした最新ドライバーに含まれる“setup.exe”をダブルクリックして起動するとインストールが開始されます。インストーラー起動時に Windows セキュリティのメッセージが表示された場合は、インストーラーに許可を与えて次に進みます。次に、左下に示すダイアログが表示されます。Next をクリックすると、右下に示すダイアログが表示されます。



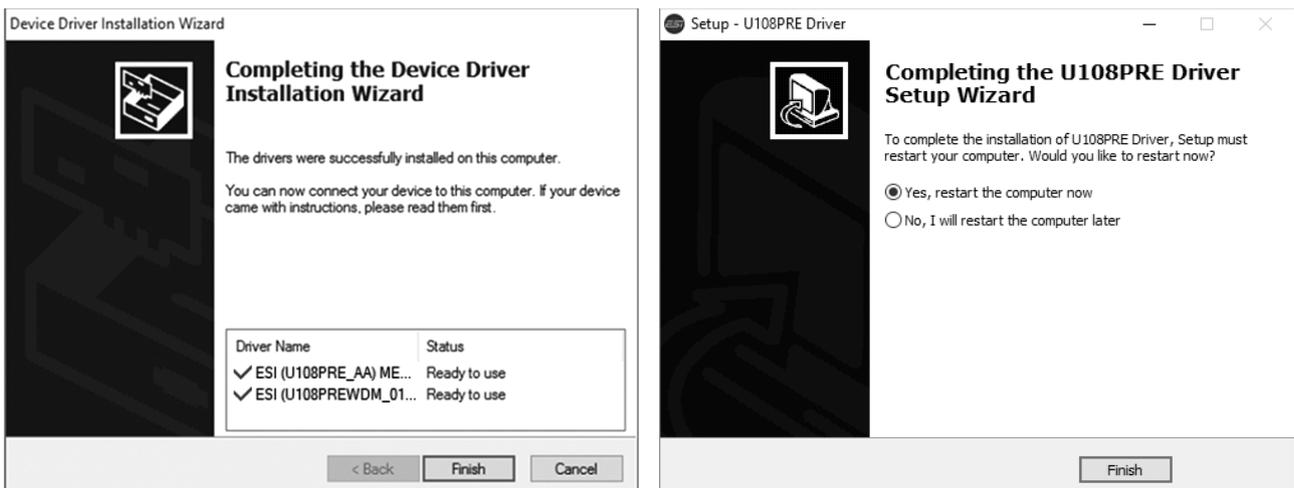
Install をクリックします。ファイルがコンピューターにコピーされた後、以下のダイアログが表示されます。



Next をクリックします。引き続きファイルがコピーされ、以下の Windows セキュリティメッセージが表示されます。



Install をクリックします。しばらくするとインストールが完了し、以下のダイアログが表示されます。



左上図のウィンドウが表示されたら、*Finish* をクリックします。右上図のウィンドウが表示された場合は、*Yes, restart the computer now* を選択してから *Finish* をクリックし、コンピューターを再起動することを強くお勧めします。

接続していない場合は U108 PRE をコンピューターに接続し、本体の電源をオンにします。Windows が自動的に機器を検出し、U108 PRE が使用可能となります。

システム再起動後、インストールの完了を確認するため、以下に示すオレンジ色の ESI アイコンがタスクバーの通知エリアに表示されているかをご確認ください。



このアイコンが表示されていれば、ドライバーのインストールが適切に完了したことになります。

2.3.2 macOS へのインストール

U108 PRE を macOS で使用するには、ドライバーのインストールが必要です。インストールDVDの*macOS*フォルダーまたはウェブサイトから最新のドライバーをダウンロード（推奨）してインストールを行ってください。

.dmg ファイルをダブルクリックして表示されるウインドウ内のインストーラーを起動すると、ドライバーおよびコントロールパネルのインストールが開始されます。画面の指示にしたがってインストールを行ってください。インストール完了後はコンピューターを再起動することをお勧めします。

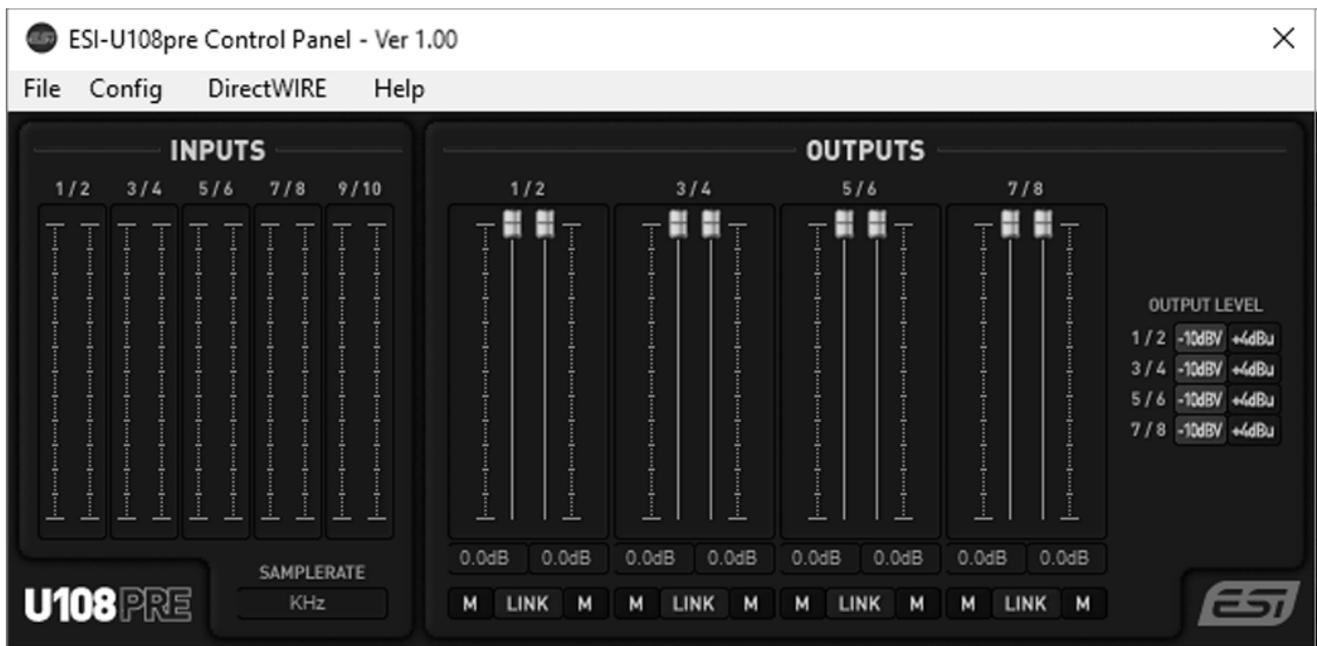
インストーラーがダブルクリックで起動しない場合は、インストーラーを右クリック（または Ctrl キーを押しながら左クリック）して表示されるメニューから開くをクリックしてください。

U108 PRE の一部の基本設定は、macOS の *Audio MIDI* 設定ユーティリティ（アプリケーション > ユーティリティ）で設定できます。

3. コントロールパネル

本章では、U108 PRE のコントロールパネルについて解説します。

Windows では、タスクバーの通知エリアに表示される ESI アイコンをダブルクリックするとコントロールパネルが開きます。macOS では、アプリケーションフォルダーにコントロールパネルアプリが保存されています。コントロールパネルを起動すると、以下の画面が表示されます。



搭載される機能は以下の通りです。

INPUTS

INPUTS セクションには、各物理入力チャンネルの信号レベルメーターが表示されています。

その下部にある **SAMPLERATE** には、サンプルレートが表示されます。

OUTPUTS

OUTPUTS セクションでは、各再生チャンネルのボリュームスライダと信号レベルメーターが表示されています。各チャンネルの下部には、信号のミュートボタン (M) を備えます。*LINK* ボタンを有効にすると、左右チャンネルを同時に調整可能です。

OUTPUT LEVEL では、各出力をスタジオ標準のバランスオーディオ信号レベルである +4 dBu、または民生用/HiFi 標準のアンバランス信号レベルである -10 dBV のいずれかに切り替えることができます。

3.1 レイテンシー設定

Windows では、コントロールパネルのメニューから *Config > Latency* を選択すると、U108 PRE ドライバーのレイテンシー（“バッファサイズ”とも呼ばれます）を変更するダイアログが表示されます。バッファサイズの値を小さくすると、レイテンシーの値が小さくなります。使用する場面（ソフトウェアシンセサイザーの再生など）によっては、レイテンシーが小さいと有利な場合があります。また同時に、使用するシステムの性能によっても最適なレイテンシー設定は異なります。レコーディングの場合は、バッファサイズを 4~8 ms に設定するのが一般的です。多くの場合、お使いのオーディオアプリケーション内で実際のレイテンシー値を確認することが可能です。このレイテンシー設定は、オーディオアプリケーションの起動前に設定する必要があります。ご注意ください。

macOS では、オーディオ・アプリケーションにレイテンシーが依存します。そのため多くの場合、各アプリケーション内でレイテンシー設定を変更可能です。

4. 仕様

主な機能

- 10 in / 8 out 24 bit / 96 kHz USB 2.0 ハイスピード・オーディオインターフェース
- 10 入力チャンネルおよび 8 出力チャンネルを同時に使用可能
- +48V ファンタム電源対応マイクプリアンプ x 10
- 1/4"Hi-Z ハイパフォーマンスインストゥルメント入力 x 2
- XLR マイクロフォン入力 x 10
- 1/4"バランス TRS ライン出力 x 8
- 1/4"ステレオヘッドフォン出力
- 独立ステレオミックス出力（マスター/モニター出力）
- フロントパネルで操作可能な内蔵モニタリングミキサー
- 付属の DC 12V 電源アダプターで駆動
- 概寸 45.0 cm x 14.5 cm x 4.5 cm

オーディオ仕様

- 最大 24 bit / 96 kHz に対応
- A/D コンバーター：
 - 107 dB (@ -60 dBFS A-Weighted)
 - 20 Hz~20 kHz、周波数応答±0.02 dB
- D/A コンバーター：
 - 112 dB (@ -60 dBFS A-Weighted)
 - 20 Hz~20 kHz、周波数応答±0.02 dB

互換性

- Windows 7、Windows 8.1、Windows 10。ASIO 2.0、MME、WDM、DirectSound（EWDM/DirectWIRE 含）
- Mac OS X（10.8 以降）。CoreAudio USB オーディオドライバーに対応

7. 一般情報

商標

ESI、U108、U108 PRE は、ESI Audiotechnik GmbH の商標です。Windows は、Microsoft Corporation の商標です。その他の製品名及びブランド名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

免責事項

すべての機能と仕様は予告なく変更される場合があります。また、このマニュアルの一部は継続的に更新されています。最新の更新情報については、ESI または国内総代理店（株）銀座十字屋ディリгент事業部の Web サイトにてご確認ください。

お問い合わせ窓口

本書をご覧いただいても解決できない問題がございましたら、ディリгентのカスタマーサポートまでご連絡ください。

なお、サポートサービスをご利用いただくためには、ディリгентへのユーザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポートサービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

ディリгентへのご登録方法：ディリгентサポートページにアクセスし、ESI オンライン登録フォームよりご登録をお願いいたします。

- ディリгентサポートサイト：<https://dirigent.jp/support/>

ご登録の完了後、ディリгентサポートページにログインするとお問い合わせフォームをご利用いただけます。

✕E

✕E